

第一回関東小学生作文コンクール 「海外に紹介したい日本のこと」
〈優秀賞〉

日本人のやさしさ

聖心女子学院初等科 六年 竹石 百李

私は、世界に日本のやさしさを伝えたいです。

日本人を、「はづかしがり屋」だと思っている世界の人は沢山いると思います。たしかに、「はづかしがり屋」です。しかし、こまっっている人がいたら、声をかける人は少なくありません。そこで私は、「はづかしがり屋」だけれどやさしい日本人を世界に伝えたいと思い、この作文をかきました。

私は、二本の電車を乗りついで学校に行きます。だから、色々な人と出会います。お年寄りの方、会社員の方、学生の人達など、様々な人達が電車に乗っています。もちろん、お互い顔見知りではありません。私は、ランドセルが重いのでなるべくすわりたくないと思います。けれども私よりも、もっとお年寄りの方は、すわりたいと思っっているでしょう。

ある日、私はすわっていました。お年寄りの方が乗ってきたので、ゆずりたいなあと思っていました。しかし、声をかけようと思いましたが、ここでははずかしい気持ちが出てきてなかなかゆずれません。(次の駅でその方がおりなかつたらゆずろう) と思いながら、一人でドキドキしていました。すると、

「どうぞ、私の席にすわって下さい。」

と声がありました。見ると、学校の上級生のお姉様が席をゆずっていました。私は、心の中で、(ああ、あと少しだったのに)と後かいしました。でもそれと同時に、声をかけなくて少しほっとする気持ちもありました。

それから数日後、私にもう一度チャンスがめぐってきました。すぐ目の前に重そうな荷物を抱えたお年寄りの方が乗ってきました。

(今日は、前回後かいしたからぜったいにゆずろう) と思い、声を

かけました。

「ここにすわって下さい。どうぞ。」

声をかけられたお年寄りの方は、うれしそうに、

「ありがとうございます。」

と言っすわりました。私は、心が晴れられました。

私のような経験をした人は、たくさんいると思います。親切にしたい、でも、自分から行動するには、はずかしくて勇気が必要です。

二〇二〇年には、東京オリンピックが開ききれません。海外から、大勢の方々が日本を訪れることでしょう。心の中に、たくさんのおやさしさを持った日本人を、外国の方々に見つけてもらえるように、私は努力をしていきたいと思っています。

日本の「おもてなし」だけでなく、「やさしさ」も伝えていけたらと願っています。

◎審査委員長からのコメント…

「日本人のやさしさはとて有名です。そこに自分を含めた日本でよくみられる「恥ずかしがり屋」の気持ちを表現した点が良かったです。また、失敗の経験を通して、勇気を持てたというのも実体験からの思いでしょうし、多くの人に当てはまる心の動きだと思います。細部にわたる表現が見事です。」